

令和5年度（2023年度）当初予算編成方針について

世界的な社会構造の変化の中、基本構想で掲げる「未来へと幸せが続く滋賀」の実現に向けて予算を編成する

【基本的な方向性】

➤ 「健康しが」実現のため、社会の変化や課題に適切に対応する施策構築

コロナ禍で再認識した滋賀の強みを手掛かりに「新しい豊かさ」を追求するとともに、子どもたちが将来にわたって幸せと誇りを感じられる「健康しが」を目指す
また、あらゆる政策の中心に子どもを置いて子どもの健やかな育ちを支える環境をつくる
さらに、地域の魅力や可能性、北陸新幹線敦賀駅開業の機会等を生かして北部地域の振興を図る

➤ 新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰等への対応

コロナ対策は、国の予算編成や基本的対処方針等を踏まえるとともに、感染症対策と両立する社会経済文化活動の継続を前提に、事業の重点化を図る
原油価格・物価高騰等の対策は、社会・経済情勢や各分野の価格転嫁の状況、国の動向等を見極め適切に対応する

➤ 財政健全化の推進

次期行政経営方針期間中における収支改善の取組を令和5年度予算に反映し、持続可能な財政運営を確保する

➤ 業務見直しの推進 ～新たな仕事にチャレンジするために～

新たな仕事にチャレンジできる環境を整えるため、今、やるべき仕事を見極め、継続する業務については、デジタル技術を積極的に活用し効率化を図るなど、業務見直しを推進する

1 「健康しが」実現のため、社会の変化や課題に適切に対応する施策構築

- ✓ 新型コロナウイルス感染症の拡大、ロシアのウクライナ侵略、気候変動問題などにより世界的に**社会構造が変化**し、つながりの希薄化、メンタルヘルスの問題や出生数の減少、物価高騰等や異常気象の多発・生態系の変化など社会的課題による**先行きへの漠然とした不安感**

5つの**施策構築の柱**に基づき、次のとおり取組を進める

- ✓ コロナ禍で再認識した滋賀の強みを手がかりに「新しい豊かさ」を追求するとともに、社会の変化や課題に適切に対応する施策を構築し、子どもたちが将来にわたって幸せと誇りを感じられる**「健康しが」の実現**を目指す
- ✓ **あらゆる政策の中心に子ども**を置いて、社会全体で子どもの健やかな育ちを支える環境をつくる
- ✓ 地域の魅力や可能性、北陸新幹線敦賀駅開業の機会等を生かして**北部地域の振興**を図る

施策構築の柱

- ①子ども・子ども・子ども
- ②ひとづくり
- ③こころとからだの健康づくり
- ④安全・安心の滋賀づくり
- ⑤グリーン・デジタルによる経済・社会づくり ～コロナからの反転攻勢～

チャレンジ！

- ✓ 公募による部局を超えた**多様な職員**が**経験や知見、アイデア**等を生かした**施策を立案**する取組を試行

2 新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰等への対応

- ✓ コロナ対策は、引き続き医療提供体制の充実・確保等に万全を期するとともに、経済・雇用対策は感染症対策と両立する**社会経済文化活動の継続を前提**に、適切に見積もる
- ✓ 原油価格・物価高騰等への対応が必要な事業については、社会・経済情勢や各分野の価格転嫁の状況、国の動向等を見極めた上で、適切に見積もる

3 財政健全化の推進

- ✓ 選択と集中の一層の徹底を図り、**最少の経費で最大の効果が挙がるよう必要な見直しを不断に行う**ことで、限られた人材や財源の中でも持続可能な財政運営を確保する
- ✓ 全庁で検討を行っている次期行政経営方針期間中における**収支改善の取組**のうち、令和5年度に係る取組を見積もりに反映し、その**具体化を図る**
- ✓ 公債費の負担が中長期的に増大することが見込まれるため、将来も適切な規模の社会資本整備を維持・継続しつつ、必要な行政サービスを提供し続けられるよう、**公債費の適正管理を行う**こととし、県債の見積額は、原則、令和4年度当初予算額を超えないこと

4 業務見直しの推進 ～新たな仕事にチャレンジするために～

- ✓ コロナ禍により社会・経済の変化が加速するとともに、突発的な事案への備えが求められるなど、新たな課題にチャレンジしていく必要性が増大
- ✓ 業務量が過大と感じる職員が継続的にみられる現状も踏まえ、とりわけ所属長の責任とリーダーシップにより、人員体制や予算のスタミナチェックを行いながら、常に業務のスクラップ&ビルドを意識し、全庁で実行することが大切

- **今、やるべき仕事を見極める**
- **継続する業務については効率化を図る**

- ✓ ヒト・財源の配分をシフトさせるための業務見直しは、次期行政経営方針素案の大きな柱の一つであり、新たな仕事にチャレンジできる体制づくりや、突発的な事態にも柔軟に対応できる、しなやかな体制づくりも含め、全庁で検討し、可能なものから取り組んでいくこととする
- ✓ なお、業務見直しは、令和5年度の実行だけで終わるものではなく、次期行政経営方針期間やその先も見据えて計画的に取り組む必要がある。人員の異動等があっても次年度に確実に引き継ぎが行われる仕組みづくりが重要

主な取組事項例

- ✓ デジタル技術を活用した各業務の見直し・効率化
 - ➡各業務の改善に資する初期投資には、費用対効果を見極めつつ、**積極的に予算対応**
- ✓ コロナ禍で取り止め、縮小等している業務については、安易に元に戻さず、社会情勢の変化を踏まえた見直し
 - ➡イベント等の効果検証、ポスターやチラシから**デジタルによる広報**への切替えなど